



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を



ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>

ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

大成功!! 5月6日 核兵器ゼロ・全国青年行動デー

by Ring!Link!Zero実行委員会

東京

RLZ 実行委員会が呼び掛けた、5・6『全国青年行動デー』。東京では「2012年国民平和行進」が、夢の島からスタートする日でした。平和行進を盛り上げようと、実行委員会総出で風船 300 個を膨らまし、RLZ オリジナルうちわ 1000 枚を平和行進チラシと一緒に沿道の皆さんに配布しました。たびたび強風や雷雨に襲われましたが、沿道の皆さんからの予想以上の好反応に励まされ、あっという間にゴール！東京駅を通過する前にうちわは全部配り終えてしまいました。対話になったり、うちわを振って見送ってくれたり、いつもよりぐっと距離が縮まった行進でした。

夢の島・第5福竜丸記念館前での出発集会では、RLZ 実行委員会を代表して林さん（民青）と西村さん（平和委員会）が青年行動デーに取り組んでいる岡山の青年と電話中継した他、兵庫や福岡など全国で取り組まれている様子を紹介しました。

Photos in Tokyo



風で飛ばないように、紅白テントのなかで風船膨らまし！強風では紐が絡まり大変でしたが、配ろうとするとココマでは順調でしたが、配ろうとすると強風で紐が絡まり大変でした（泣）



要員の皆さん、本当にありがとうございました！打ち上げの一杯は最高でしたねv



宮城から送られた大漁旗も鮮やかでした

今年はサウンドカーが登場！風船とうちわでデコ★



岡山県労会議ブログでも紹介されています！

岡山県労会議青年部の弓田さん（全労連青年部常任委員）



シール投票は対話のきっかけ。
若い世代の複雑な心境も捉えて、運動に生かそう！



岡山 R L Z 実行委員会からの呼びかけに答えて、Peace Piece おかやま、日本民主青年同盟岡山県委員会、岡山県平和委員会、岡山労働組合会議青年部4団体共催で「5.6 核兵器廃絶青年宣伝」を行いました。岡山・イトーヨーカ堂前、倉敷・JR倉敷駅南口2Fデッキの2か所で行った「核兵器なくそう！署名・広島へ持って行く折り鶴づくり、原爆写真展、シール投票などを参加者12名で行いました。

岡山県労会議青年部の弓田盛樹さんは、「5月5日23時をもって国内で稼働している原発がなくなった。子どもたちのためにも原発はなくさなければいけない。核兵器開発の延長線上で開発、普及されたのが原発。今なお世界には2万発以上の核兵器が存在します。核兵器と人類は共存できません。みなさんの思いを署名に寄せてください」と訴えました。

シール投票では「核兵器をなくしたいですか？ 核兵器はなくせるとお考えですか？」の問いに、「なくしたいですか？」には、迷わずYESにシールを貼るも、「なくせるとお考えですか？」には、「アメリカや中国などとの関係があるから」「日本だけでは無理」などの声がありNOにシールを貼る人もいました。

岡山・倉敷を合わせて署名48筆・折り鶴11羽・シール投票には40人ほどの人が答えてくれました。

参加者からは、「存在感があった。見てくれる人がいて、良かった」「原爆パネルの内容が良いので、別の機会に使って何かやりたい」「久しぶりの参加。反応が良かった」「原発事故があったから、核兵器にも関心が高くなってると感じた」との声がありました。

次は…原水爆禁止2012年世界大会へ!!

世界大会 青年 プレ企画

3.1 ピクニックデー、5.6「核兵器ゼロ青年行動デー」などの取り組みで広がった「核兵器をなくしたい、何かしたい」という青年の思いや、つながり、経験を、原水爆世界大会にむけて生かそうと、東京で青年を対象にした原水爆禁止2012年世界大会のプレ企画を計画しました。

被爆者の方々から直接お話が聞ける機会は、今後はどんどん減っていきます。被爆者の方々の体験や想いを聞きとり、改めて「なぜ核兵器はなくす必要があるのか？」「平和とは？」「自分にできることは？」などを考え、今後の運動の力にしていましょ。世界大会（広島）の被爆者訪問も準備されています。お手伝いしたい！という方もぜひ参加してください。

■日時 6月24日（日）13時～18時
■内容 被爆者訪問
■会場 全労連会館2階ホール
■主催 RLZ実行委員会・東京原水協

どなたでも参加できます
 ♪ ♪ ♪
 お申し込みは全労連青年部へ
 youth@zenroren.gr.jp
 +tel 03-5842-5611 fax 03-5842-5620